

No. 62

# 6月定例会 (7月臨時会)

令和2年8月21日発行

やまなし

# 市議会 だより

## 目次

定例会の概要	2
7月臨時会の概要	3
議案等審議結果	4
市長所信表明・用語解説	5
議員表彰・議会構成	6
代表質問	7~9
一般質問	10~12
委員会報告	13~15
議会活動日誌・編集後記	16

### 6月定例会及び新型コロナウイルス感染症支援 に関わる7月臨時会を開催



～皆さまのご意見をお寄せください。～

設置場所：市役所・支所・街の駅やまなし・市民総合体育館

# 6月定例会の概要

市長から提案された、専決処分、条例改正、令和2年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

## 議案第57号

専決処分の承認を求めることについて（新型コロナウイルス感染症対策に伴う関係条例の整備に関する条例について）

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴う、市民生活や企業活動等への影響を最小限に抑えるため、市税の徴収猶予の特例及び児童等の保護者への負担軽減の特例、並びに商工振興資金の貸付けを受けた者に対しての利子相当額を補助する特例を創設するなど、所要の改正を行ったものです。

## 議案第58号

専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山梨市一般会計補正予算（第1号））

新型コロナウイルス感染症対策に関する支援策の内、緊急を要する支援事業経費を補正するものであり、歳入歳出予算にそれぞれ36億5867万5千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ219億7367万5千円にするものです。内容は、特別定額給付金給付事業として35億2932万円、子育て世帯臨時特別給付金給付事業、及び私立保育園等の副食費無料化事業として4638万円余、マスク等衛生用品支給事業として8297万円余の補正予算を専決処分したため、議会の承認を求めます。

## 議案第59号

山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について

「介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令

## 議案第61号

令和2年度山梨市一般会計補正予算（第2号）

の一部を改正する政令」の施行に伴い、低所得者の保険料の軽減が強化されたことから、第1段階から第3段階までの第1号被保険者の保険料率を引き下げするため、改正しようとするものです。

歳入歳出予算にそれぞれ1億7062万8千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ221億4430万3千円にするものです。内容は、新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費と、農林水産業費、教育費に関連する事業の補正予算です。新規事業として、国が進めるGIGAスクール構想に基づく市内小中学校の施設整備費に1億779万円余、果樹振興対策事業として880万円、県単土地改良事業として530万円余などです。事業費の見直しとして、小原東東後屋敷線（第2期）道路改良費1850万円、東山中部林道整備事業として1050万円余などです。また、新型コロナウイルス感染症対策関連として、議員報酬、及び特別職給料の減額260万円余、手作りマスクプロジェクト70万円、公立・私立保育園等の保育料無料化事業の歳入減額1158万円、広域公立保育認定こども園、幼稚園に対する保育料補助352万円余、公立保育園副食費無料化事業の歳入減額280万円余、学童クラブ利用料無料化事業の歳入減額377万円余、生活困窮者自立相談支援事業「住居確保給付金」514万円余、商工業振興対策経費762万円余、休業要請に係る万葉温泉使用料と市営駐輪場使用料の歳入減額及び還付金70万円余、小中学校授業放送事業72万円、学校給食費無料化事業に伴う保護者負担金の歳入減額と市外通学者への補助金5749万円余、学校給食納入業者補償事業626万円余、公立幼稚園給食費無料化事業に伴う保護者負担金の歳入減額51万円余などが主なものです。

# 7月臨時会の概要

## 教育民生常任委員会による、議案第65号に対する修正案

令和2年7月臨時会は、7月21日（火）の会期1日間で開かれました。高木市長より、新型コロナウイルス感染症に伴う条例改正2件、補正予算1件の計3件の議案が提出されました。また、三枝議長より議案を付託された教育民生常任委員会では、議案第65号に対する修正案を提出しました。採決の結果、教育民生常任委員会から提出された修正案は、賛成少数により否決され、提出された議案は、全て原案のとおり可決されました。

## 議案第63号

山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について

収入が減少した第1号被保険者の保険料に減免の特例規定を設けるため、条例の一部を改正しようとするものです。

## 議案第64号

山梨市放課後児童健全育成条例等の一部を改正する条例について

学童クラブの利用料や特定教育・保育施設に通う3歳以上の児童の副食費、保育園等の保育料を無料とする特例期間を令和2年9月30日まで延長するため、条例の一部を改正しようとするものです。

## 議案第65号

令和2年度山梨市一般会計補正予算（第3号）

一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ4億5785万1千円を追加しようとするもので、新型コロナウイルス感染症対策に関する国の支援策と、市の単独支援策に係る補正予算です。市の単独支援策としては、新型コロナウイルス対策として、強アルカリイオン電解水とアルコール消毒液を各世帯に配布する「衛生用物品配布事業」や、全市民に市内の飲食店や小売店などで使える5千円分の商品券を配布する「生活応援・消費喚起商品券配布事業」などがあります。

## 修正案の内容（以下、抜粋）

※委員会の修正案・・・付託された議案に対し、当該委員会が修正すること。

今、各種アルコール消毒液が市場に数多く出回ってきている状況の中、「衛生用物品配布事業」として配布予定の強アルカリイオン電解水は、新型コロナウイルスに対し、効果が実証されておらず、なぜ、このタイミングで市の予算を投じ配布するのか、その必要性が理解できない。また、アルコール消毒液などは、不特定多数の人々が集まる場所等に設置すべきものであって、市が市内全戸に配布するようなものではないと考える。全国状況を見た時に、新型コロナウイルス感染症への対策は、引き続き徹底していかなければならず、経済活動への支援も併せて行っていくかなければならない。本市の現状を考えた時に、今、山梨市が行うべきことは、市民の皆さんは何を求め、何がより必要なのか。それは、予防のための物品なのか、それとも生活のための支援なのかを十分調査し、市民の皆さんの声を広く聴く中で、これから先、第2波以降の新型コロナウイルス感染症への未確定な状況に対応できるよう、限られた本市の財源の中で有効な予算措置を考えることが重要である。本事業については今一度検討をお願いしたく、議案第65号における衛生用物品配布事業費3300万円を削除する修正補正予算案を提出する。

# 令和2年6月定例会及び7月臨時会議案等審議結果

## 6月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：議案に賛成 反：議案に反対 棄：棄権）

議案 番号	議案 件名	議員名													審議 結果		
		深 沢 敏 彦	土 屋 裕 紀	根 津 和 博	萩 原 弥 香	清 水 時 保	村 田 浩	飯 島 力 男	古 屋 弘 和	矢 崎 和 也	武 井 寿 幸	木 内 健 司	小 野 鈴 枝	飯 嶋 賢 一		岩 崎 友 江	向 山 輝
第57号	専決処分の承認を求めることについて（新型コロナウイルス感染症対策に伴う関係条例の整備に関する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第58号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山梨市一般会計補正予算（第1号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第59号	山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第60号	山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第61号	令和2年度山梨市一般会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第62号	令和2年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	適任と 認める

## 7月臨時会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：議案に賛成 反：議案に反対 棄：棄権）

議案 番号	議案 件名	議員名													審議 結果		
		深 沢 敏 彦	土 屋 裕 紀	根 津 和 博	萩 原 弥 香	清 水 時 保	村 田 浩	飯 島 力 男	古 屋 弘 和	矢 崎 和 也	武 井 寿 幸	木 内 健 司	小 野 鈴 枝	飯 嶋 賢 一		岩 崎 友 江	向 山 輝
第63号	山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第64号	山梨市放課後児童健全育成条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
	令和2年度山梨市一般会計補正予算（第3号）修正案	反	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	否決
第65号	令和2年度山梨市一般会計補正予算（第3号）	賛	反	反	反	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	可決

# 高木市長の所信表明（6月定例会）

## おもな事業の報告

### ●GIGAスクール構想に基づく市内小中学校ネットワーク整備事業について

本市では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内小中学校の休業が長期化したことから、各学校において課題の配布などによる生活、学習指導を行うとともに、ケーブルテレビを使った授業番組を作成し、放送するなど、教育課程の実施に出来る限り支障が生じないよう対応してきました。今後も、今回のような感染症や災害等による臨時休業など、緊急時に対応できる遠隔教育などを加速していくことは急務です。国においても、「令和5年度までの児童生徒1人1台パソコンの整備スケジュールの加速など、在宅・オンライン学習に必要な通信環境の整備を図る」ことが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に盛り込まれたところです。これを踏まえ、今定例会に公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業として、校内の高速ネットワーク通信設備整備のための補正予算を上程させていただきました。年度内の整備を目指します。なお、児童生徒が使う1人1台パソコンにつきましては、入札にあたりスケールメリットが得られるよう県が県内市町村の必要台数の調査、調整等を行っておりますので、その結果に基づき、9月定例会に補正予算を上程させていただくための準備を進めているところです。

### ●観光推進に関する取り組みについて

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのイベントが中止を余儀なくされ、積極的な観光推進が取り組めない状況です。外出自粛に取り組んでいたという皆様に、本市を身近に感じていただくことを目的に、本市観光協会では「おうちで山梨市」プレゼント企画を実施しています。第1弾は、4月に「市営温泉3施設のオリジナル温泉の素プレゼント」を実施し、30名の方に、各ご家庭で山梨市の温泉を楽しんでいただきました。第2弾として、「おうちでサクランボ狩り」と銘打ち、サクランボ狩りのイメージ動画を作成し、自宅でサクランボ狩りセットとともに、市内のサクランボを抽選で10名の方にプレゼントするキャンペーンを実施しています。今後も、SNSなどを利用した情報発信に取り組みつつ、終息後の観光誘客に向け、県外への観光キャンペーンにも徐々に取り組んでいきます。

## 議会用語解説

～議会だより第62号に使用されている用語を解説します～

用語	解説
定例会	定期的に招集される議会のことです。山梨市議会の定例会の回数は年4回(3月、6月、9月、12月)と定められています。
臨時会	定例会のほかに、臨時的必要がある場合、特定の事件に限ってこれを審議するために随時招集される議会のことをいいます。
議案	議会の議決を必要とする市長または議員、委員会が議長に提出する案件のことです。条例の制定、改正、廃止、予算の決定、決算の認定などの案件があります。
一般会計	特別会計、企業会計以外の全ての基本となる歳入歳出を計上した会計のことをいいます。
常任委員会	議会が条例で設置する委員会の内、一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行わせる委員会のことです。山梨市議会では条例で、総務常任委員会、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会を置いています。
専決処分	議会が議決または決定すべき案件について、議会を招集する時間的な余裕がないときなどに、市長が議会に代わって意思決定をすることです。専決処分をしたときは、次の議会に報告して承認を求めます。

## 議員表彰伝達



第96回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員の表彰が行われました。本市では、20年以上の職にある者として、小野鈴枝議員、10年以上の職にある者として、飯嶋賢一議員、古屋弘和議員の3名が表彰を受けられ、令和2年6月定例会におきまして、三枝正文議長より、表彰の伝達が行われました。

## 新しい議会構成決まる

令和2年6月定例会において、各委員会の委員の選任等が行われました。各常任委員会、議会運営委員会及び組合議会議員の構成は下表のとおりです。

◎委員長 ○副委員長

### ◆総務常任委員会

◎清水時保 ○村田 浩  
三枝正文 飯島力男  
古屋弘和

### ◆建設経済常任委員会

◎武井寿幸 ○岩崎友江  
深沢敏彦 根津和博  
木内健司 飯嶋賢一

### ◆教育民生常任委員会

◎向山 輝 ○小野鈴枝  
土屋裕紀 萩原弥香  
矢崎和也

### ◆議会運営委員会

◎矢崎和也 ○小野鈴枝  
土屋裕紀 村田 浩  
飯島力男 武井寿幸

### ◆組合議会議員

#### 〈東山梨行政事務組合議会議員〉

土屋裕紀 村田 浩 古屋弘和  
矢崎和也 木内健司 小野鈴枝  
岩崎友江 向山 輝

#### 〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉

根津和博 萩原弥香  
飯島力男 武井寿幸

#### 〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉

深沢敏彦

#### 〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉

三枝正文 向山 輝

日本共産党	公明党	尚志会	市民クラブ	新翔会	市議会では、所属政党や主義主張を同じくする議員が集まって会派を結成し、活動を行っています。山梨市議会では左記の会派等が結成されています。(○は会派代表者)
○清水時保	○木内健司 萩原弥香	○飯島力男 岩崎友江 向山 輝	○小野鈴枝 飯嶋賢一 深沢敏彦 村田 浩	○武井寿幸 古屋弘和 三枝正文 矢崎和也 根津和博 土屋裕紀	



**問** 新型コロナウイルスが及ぼす本市経済への影響とその対策について

①本市における現時点での税収見込みについて。②感染症終息まで商工業者への大胆な金融政策が必要と考えるが、国・県・市それぞれどのような施策を考えているのか。③本市果樹産業を守るための対策について。

市長 高木晴雄

**答** ①現時点で具体的な見込額の算定は困難であるが、今後、納税猶予制度を活用した納税相談や、事業所等への営業支援策などの経済対策に取り組み、出来る限り税収が確保できるよう努める。②国及び各都道府県においては無担保、保証料減免などの措置がされており、国の第2次補正予算において、長期間元本返済が

ない資本性劣後ローンや、官民連携ファンドを通じた出資・債権買い取りなどの施策が打ち出されている。市では、これらの制度の周知を図り、市商工振興資金利子相当額の事前補助事業を実施するなど、商工会や金融機関などと連携し、必要に応じた対策が迅速に実施できるよう、全力で取り組んでいく。③農産物の消費拡大や経営安定化に資する支援策、事態収束後の担い手の確保・育成に向けた対策、及び観光農園の減収に対する支援策等の検討要望を県知事に提出した。

**問** 旧畑総38号線について

八幡地区と岩手地区を受益地とした農道整備計画「畑地帯総合整備事業」について、平成29年度から県では新たな事業として検討を行っている。①昨年度の取り組み内容について。②畑地帯総合整備事業にかわる新たな事業と、整備事業計画の期間、現時点での総事業費について。

市長 高木晴雄

**答** ①事業費の縮減を目的とした路線の再検討について業務委託を実施した。現行のトンネル区間のルートと、迂回ルート

による検討案を行ったものであり、結果を踏まえ、県との協議を行っている。②県が事業主体となり、農業振興を図るべく、農道整備の必要性を鑑み、事業期間を定め、事業化に向け積極的に取り組んでいる。事業実施期間は概ね8年間を想定しており、総事業費は10億円程度となる計画である。

**問** 8050問題などの「ひきこもり対策」について

8050問題とは、ひきこもりが長期化し、ひきこもっている本人が50歳代となり、その保護者も80歳を超え、生活困窮に陥るという問題である。①国の有識者会議でも提言されている「断らない相談体制の整備」に関し、窓口一本化の体制づくりを促しているが、市ではどのような体制整備を考えているのか。②社会福祉法人やNPO法人との連携強化に対する市の考えについて。

福祉課長 武井 学

**答** ①窓口一本化の体制づくりについては、ひきこもりの人も含め、その家族が抱える様々な課題を丸ごと受け止めるために、どのような体制がふさわしいか、そのあり方を研究していく。②ひきこもりの人のニーズを把握していく中で、社会福祉法人やNPO法人などとの連携を深めるとともに、地域関係者の支援もいた

だきながら、居場所づくりや社会参加の場の確保など、新たな支援方策について検討していく。

＜その他の質問＞

- 新型コロナウイルス拡大による中小・零細企業への支援策について
- パラリンピック開催延期に伴うホストタウン事業への影響について
- 休校による「学力格差」対策について



▲ひきこもりなどの相談体制



**問** 新型コロナウイルス感染症対策支援への対応について

①本市の取り組み状況について。②今後の本市独自の支援策について、私から「自己所有店舗などに係る固定資産税の軽減」、「市民へ市内の消費を促す商品券等の配布」、「高校生や大学生に対する経済的自立支援」、「長期休校や外出自粛等により、不安を抱える子ども達や高齢者、障害者の精神面・健康面への対策」を提案するが、国の第2次補正予算における支援策を考慮した、市長の見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

**答**

①マスク等衛生用品の配布事業などを実施している。不織布マスク等衛生用品の全世帯への配布事業については、93・8%の世帯に配布済みであり、今月中

には、高性能で抗菌性の高い布マスク3枚1セットを全世帯に配布予定である。また、手作りマスクプロジェクトで提供いただいた合計4183枚のマスクについては、要望のあった市内30の福祉施設などに配布した。職員の手作りフェイスシールド提供事業についても、牧丘病院をはじめ、市内開業医、市内歯科医院へ合計740枚を届けたところである。②国の第2次補正予算の事業内容は、困窮するひとり親世帯への支援や収入が急減した中小企業への支援など、救済を厚くする内容となっている。本市における2次の独自支援策としては、国の方針を踏まえつつ、議員からの幾つかの貴重な提案も参考にさせていただく。

**問** 放課後児童クラブの実態について

①日下部児童クラブについて、遊び場としてのスペースが狭く活動できる能力を果たしていないと考えるが、今までの対応について伺いたい。②日下部児童クラブを小学校の近くに移転する考えはあるのか。

市長 高木晴雄

①小学校から離れているため、校庭での遊びの時間を設けておらず、安全面も考慮し、前庭での遊びも実施していない。今後、校庭での遊び・活動時間が確保できるよう、校庭への移動や見守りのための人員を増員するなど、検討していく。②今後、利用児童の人数、学年などを確認する中で、低学年児童の小学校余裕教室利用による児童クラブの新設や、小学校近隣の適地への独立した児童クラブの新設を研究していく。

**問** 三富支所並びに基幹集落センター（公民館）のリニューアルについて

両施設は、昭和58年に建設された建物であり、地域の活動拠点、地域住民の避難場所として利用している重要な場所である。①両施設へのエアコン設置について、温暖化による夏季の暑さ対策として、早期の対応を望むがいかがか。②両施設のトイレについて、洋式トイレへのリニューアルを要望するが、見解を伺いたい。

三富支所長 立川隆次

**答**

①エアコンの整備は必要と認識しており、施設の構造や必要範囲の状況を調査する中で、効率性を十分考慮し、設置について検討していく。②現在、施

設状況や改修に必要な財源確保を踏まえた「公共施設等総合管理計画」の策定を進めており、その計画に基づき、地域にあった施設となるよう検討していく。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策に関連したテレワーク等の導入について
- 東京オリンピック・パラリンピックホストタウンについて
- 会計年度任用職員制度について
- 自治会並びに、(町内会)ごみステーションについて
- 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業について



▲山梨市立日下部児童センター





**問** 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害対策について

①災害時の避難に関する判断基準について。②避難所における感染症防止対策について。③避難所の感染症防止に必要な物品の備蓄状況について。④災害協定による支援について。⑤避難者が予め備えておく必要がある物品について。

市長 高木晴雄

**答** ①避難行動は自らの判断で行うのが大原則であり、身の危険を感じたら安全な方法で避難することが望まれる。また、日頃から防災意識を持ち、避難行動を考えておくことが重要である。②パターションの利用や指定避難所以外の公共施設の活用など、検討していく。また、その他

の感染症対策についても、国の避難所における感染症対策マニュアルなどを参考に検討していく。③現在、大人用マスク3万2千枚、子ども用マスク7千枚、除菌シート98袋、パターション120個を備蓄している。段ボールベットについては、今年度600個の寄附をいただく予定であり、令和6年度までの5年間で合計3千個の寄附をいただく計画である。④業者との災害協定では、食料品や飲料水などの供給支援があり、市町村との応援協定では、医療、防疫などに必要な資機材の提供支援がある。⑤水や食料、常備薬等とともに、感染症対策として必要なマスクやアルコール消毒液などを予め備えていただくことが望ましい。

**問** 山梨市ふるさと納税全般と富士吉田市との連携協定について

①この取り組みにおける本市のふるさと納税への効果と実績、今後の取り組みについて。②シャインマスカットを供給する富士吉田市との連携協定について、期間が定められていないが、協定の見直し等は考えているのか。

市長 高木晴雄

**答** ①フルーツの販路拡大と地場産業の活性化が図られていると考える。また、富士吉田市との連携協定における昨年度の寄附額は、881万円であった。今後もフルーツ人気を維持しつつ、「ヨゲンノトリ」等を用いた返礼品の発掘や登録、富士吉田市の他の人気返礼品を登録することで、本市寄附額の増加に繋がっていく。②見直しについての即答は避けるが、今後、どのように生かしていくかは検討を重ねていく。

**問** 市内小中学校の教育課程の見直しと保護者負担について

①休業期間中における児童生徒への取り組みについて。②今後の教育課程の見直しについて。

教育長 澤田隆雄

**答** ①学習課題の配布、ケーブルテレビを活用した授業番組放送等を行い、自主学習への取り組みや、生活面での注意を呼びかけた。②夏季・冬季休業期間を短縮し、県民の日、創立記念日を授業実施日とする。また、運動会などの学校行事についても見直しを行い、授業時間数の確保を図る。各学校では、令和2年度教育課程山梨市モデルを柔軟に編成し、今年度の教育活動を進めていく。

△その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症拡大による行財政運営について
- 高木市長の公約である「豊かな暮らしを支えるまちづくり」における、市内の道路整備状況について
- オンライン診療の取り組みを活用した交通弱者に対する行政サービスについて
- 特別定額給付金の給付状況について
- GIGAスクール構想について



▲山梨市防災倉庫内備蓄物資



土屋裕紀 議員

新翔会

**問** 市内全戸モバイル機器と通信環境の整備について

市内全戸へのモバイル機器と通信環境の整備に関する市の考えについて。

財政課長 古屋健司

**答** モバイル機器等の必要性は、年代や地域性によって、内容・条件が異なるものと考えている。現在、本市ではホームページの掲載内容や、瞬時に伝えるべき情報などをCATVのデータ放送を活用し、市民にお知らせしている。今後、次世代通信規格で高速大容量の特徴を持つ「5G」の活用を含めた検討が求められているため、本市の地域課題への活用などと併せ、検討していく。

**問** 通学時の熱中症対策と抜本的な見直しについて

①登下校中のマスク着用などの現状について。②更に暑くなった時の対策について。③臨時交付金などを活用した通学路の遮熱性アスファルト舗装について。④スクールバスの市内全面運行、市民

バスの積極的な活用について。  
学校教育課長 竹川一郎

**答**

①帽子の着用、水筒を用意しての水分補給、荷物を減らす等の取り組みを行っている。②児童生徒間に十分な距離を保ち、マスクを外して体を休める等の指導を行う。③歩道等の一部分ではその効果が得られるか不明であるため、交付金活用可否と併せて今後調査していく。④スクールバスで全ての児童を対象に運行するには、相当数のバスと時間が必要になるため、現時点での実施は困難である。市民バスについては、学校の始業時間に合わせたダイヤ改正や、停留所の移動などの改善を行っている。今後は、来年度策定する山梨市地域公共交通計画におけるアンケート調査を実施し、通学時の利用についても検討していく。

〈その他の質問〉

○国の臨時交付金の活用について  
○コロナ禍を教訓とした新しい生活スタイルの構築について

○専門的知見を取り入れた感染予防の徹底について



▲モバイル機器を活用したオンライン診療



武井寿幸 議員

新翔会

**問** 山梨市防災行政無線システムの整備について

①牧丘地域の戸別受信機をデジタル式に取り換える整備を要望するが、市の考えを伺いたい。②災害未然防止策として、山梨地域への戸別受信機の新たな設置を要望するが、市の考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

**答** ①アナログ電波の使用期限が、令和4年11月までとなっているため、デジタル式の戸別受信機も含め、代替えとなる屋内放送設備の調査、検討を進めている。②デジタル式の戸別受信機については、多額の財政負担を伴うため、防災行政無線以外の効果的な情報伝達方法と併せ、検討していく。

**問** 旧牧丘町総合会館（牧丘町YLO会館）の解体とその後の活用について

①平成28年9月末の閉館から3年半以上経過し、老朽化が進む建物の解体計画について。②解体後の跡地活用について、軽スポーツ

広場としての活用を希望する声もあり、周辺の河川敷や自然景観を生かした多目的に利用できる整備を提案するが、市の考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

**答** ①解体工事には多額の費用が見込まれるため、有利な起債や補助金の活用を念頭に、解体後の跡地の活用方法を含め、検討を進めている。また、解体に係る課題を整理するため、職員による現地確認を行ったところである。②不足している花かげホール、花かげの湯、及び牧丘B&G海洋センターの駐車場を中心とした活用を主に考えている。周辺の状況を確認しながら、子どもからお年寄りまで、幅広い年代の方が利用できる多目的な活用策も踏まえ、早急に検討していく。

〈その他の質問〉

○ふるさと納税の今後の対応について  
○子ども達のインターネット・ゲーム依存症を防ぐ取り組みについて



▲旧牧丘町総合会館(牧丘町YLO会館)

## 一般質問



小野鈴枝 議員

市民クラブ

### 問

オンライン授業について

①本市では、オンラインによる取り組みを県下に先駆けて4年前に取り入れ、不登校状態にある生徒に対し、インターネット回線を介して授業を行っているが、コロナ禍による長い学校の休業に際し、この取り組みは生かされたのか。②今後、学校の概念は変わり、文部科学省のカリキュラムの見直しも必要ではないかと感じるが、非常事態に合わせた学習内容の検討がされるのか。

教育長 澤田隆雄

### 答

①以前、不登校対策として生徒が授業に参加できるよう、オンラインによる取り組みを行った経過がある。これは、学校と不登校生徒の家庭をインターネット回線で結ぶもので、既存のネットワークと2台の端末により、生徒と担当教師が双方向に会話し、学習指導などを行うもので、対象者が限られていた。本市では、全児童・生徒を対象に実施するところまで整備が至っていない状況

である。GIGAスクール構想に基づき、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業、及び1人1台端末の整備を行うことにより、オンライン授業への環境整備を推進していく考えである。②本市教育委員会では、指導計画として、令和2年度教育課程山梨市モデルを作成し、各校の実態や特色に応じて柔軟に編成し直し、今年度の教育活動を進めることとした。今後も、国・県との連携を図りながら、適切な、質の高い教育の推進になお一層努めていく。



▲学校におけるオンライン授業



清水時保 議員

日本共産党

### 問

給食費を1年間(来年3月まで)無償とすることについて

5月25日に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が解除されたが、困窮する家庭・学生・事業者への支援は未だに行き渡っておらず、補償を伴わない自粛に耐えている若い子育て世代の家庭にとつて、給食費は大きな負担である。給食費を1年間(来年3月まで)無償とすることについて、市の考えを伺いたい。

教育長 澤田隆雄

### 答

本市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、子育て世代の経済的負担を軽減するため、市内小中学校、つつじ幼稚園に通う全児童・生徒・園児の給食費を3か月分無償とするなど、今定例会に給食費負担金5487万6千円の減額補正予算を上程した。また、市外の小中学校に通う児童生徒の保護者を対象に、同様の措置として、補助金313万8千円を合わせて予算計

上した。なお、本市では経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学に関する費用の一部を補助する制度にも取り組んでおり、全児童生徒の13%に当たる準要保護者の給食費も別途援助している。給食費の無償延長については、今後、再度の休業措置など、状況に大きな変化があった場合は、再度検討していく。



▲学校給食



萩原弥香 議員  
公明党

**問** 災害避難所開設にむけての感染症対策について

①防災計画における避難所の感染症対策について。②「避難時の対応」等に関する市民への啓発について。

市長 高木晴雄

**答** ①地域防災計画の改定中である。今後、国の「避難所における感染症対策マニュアル」などを参考に、感染症対策の強化と地域の実情に合わせた避難所運営に努める。②家庭などで出来る衛生・防災対策などの広報番組を作成し、活用していく。

**問** 特別定額給付金の支給について

①給付対象の総世帯数・人数、現時点での申請数について。②申請の期限・注意点等について。

総務課長 小田切 聡

**答** ①対象総世帯数は1万4690世帯、対象人数は3万4389人である。6月11日現在、オンライン申請は383件、郵送申請は1万2845件で

ある。②申請期限は、オンライン、郵送ともに8月20日までである。簡易な不備については、職員が電話で確認し修正しているが、本人確認書類の写し等の添付漏れについては、再提出をお願いしている。

**問** オンライン学習について

①児童・生徒のいる家庭でのWi-Fi環境や、パソコン・タブレットの保有率について。②緊急時における家庭でのオンライン学習の今後の計画について。

学校教育課長 竹川 一郎

**答** ①学校を通じて調査を始めたところである。②GIGAスクール構想に基づく整備に併せて、教師のICT活用指導力の向上及び指導体制の充実を図るための手法などについて研究していく。また、家庭におけるネットワーク環境整備の現状を調査し、過大な負担が生じないように併せて研究していく。

その他の質問

○「海洋プラスチックごみ削減のために」について



▲オンライン学習



向山 輝 議員  
尚志会

**問** SARS-CoV-2、COVID-19(通称)新型コロナウイルス拡大に伴うオンライン診療について

①フィリップス・ジャパン(株)と山梨厚生会、本市の間で包括連携協定を締結し、医療体制の構築を進めているが、その進捗状況と今後の取り組み、及び考え方について。②今般の新型コロナウイルス対応に関連するオンライン診療について。

市長 高木晴雄

**答** ①オンライン診療の機能を兼ね備えた訪問診療車を導入し、医師の移動時間削減など、本市の在宅医療強化の推進と、財源確保や関係団体、企業の参画等の検討を重ねている。②情報通信機器を持つ患者を対象とした通常の診療、高齢者等の自宅まで病院スタッフが出向いて補助する診療、感染の可能性がある患者に対し、訪問診療車の中で行う診療の3つの形態を想定している。

**問** 各種将来計画を踏まえた新型コロナウイルス対策に関する考え方に

①市民全員に行き届くための対策について。②今後の本市独自支援策への取り組みについて。③財政調整基金の取り崩しによる財政運営への影響について。

市長 高木晴雄

**答** ①市民の健康と生命を守りつつ、家計と事業所の双方にとつて、効果的な経済的支援策を中心に対策を講じる必要があると考えている。②全ての市民や事業者にとつて、真に必要であり、かつ隅々まで事業効果が行き渡るような思い切った市独自の対策を講じていく考えである。③現時点では基金を活用しているが、国の交付金の額が確定次第、財源の更正を行う考えである。現予算を精査する中で、新型コロナウイルス対策には万全を期していく。

その他の質問

○農薬の飛散防止対策について  
○令和元年12月定例会提出の議案第99号山梨市デイサービスセンターの指定管理者の指定後

の辞退について



▲山梨市デイサービスセンター

## 総務常任委員会

### 付託議案

- 議案第57号 専決処分の承認を求めるとして(新型コロナウイルス感染症対策に伴う関係条例の整備に関する条例について)
- 議案第58号 専決処分の承認を求めるとして(令和2年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分)
- 議案第60号 山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 議案第61号 令和2年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分
- 議案第62号 令和2年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

### 総務常任委員会

- ◎清水 時保 ○村田 浩  
三枝 正文 飯島 力男  
古屋 弘和

○「議案第57号 専決処分の承認を求めるとして(新型コロナウイルス感染症対策に伴う関係条例の整備に関する条例について)」

**問** 令和2年4月30日に改正された地方税法等の施行に伴う条例改正の内容について、主なものを伺いたい。

**答** 改正内容は、徴収の猶予制度の特例として、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための措置に起因しており、多くの事業者の収入が減少しているという現状を踏まえ、地方税においても、無担保かつ延滞金なしで1年間、徴収猶予を適用できる特例措置などである。また、厳しい経営環境に直面している中小企業者などに対して、前年の同期間と比べ、所得の減少率により、償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税、都市計画税の軽減を行う措置や、固定資産の特例措置の拡

充として、現行制度の設備投資に事業用家屋と構築物を追加し、令和4年度までの2年間に限り延長することとなっている。

○「議案第58号 専決処分の承認を求めるとして(令和2年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分)」

**問** 特別定額給付金給付事業費補助金の予算内訳と、特別定額給付金給付事業に携わる職員数など、適正な事務処理態勢が取れているのか伺いたい。

**答** 特別定額給付金給付事業の歳入は、主に1人10万円の給付分として35億円、事務費分として2932万円である。事務費の内訳は、会計年度任用職員6人分を6か月雇用する経費、及び正規職員の超過勤務手当などの人件費、並びに申請書の用紙、印刷代が213万円、また、郵送料、及び振込手数料が551万円余、

その他、給付システム構築費用や、オンライン申請受理用のシステム端末機のリース料等である。給付金の事務処理は20人態勢で行っている。総務課職員の他、予算計上したパンチャー4人、休館・休業により業務が縮小した観光課、生涯学習課から1人ずつ兼務辞令を出し、更に業務が集中する初期段階においては、庁内の会計年度任用職員を1日平均4人依頼し対応した。

○「議案第61号 令和2年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分について」

**問** まちづくり・協働事業経費について、事業の内容や実施期間などの詳細を伺いたい。

**答** 市民から手作りマスクを1枚150円で買い上げ、希望された社会福祉施設等に市から配布する「手作りマスクプロジェクト」事業である。44施設の

社会福祉施設の内、希望を取って30施設に配布を行った。実施期間は4月27日から5月15日までであり、市民から4183枚の提供があった。その内、2700枚を配布し、残りの1483枚は今後の対応のため、市役所内で備蓄保管している。



▲総務常任委員会での審査の様子

建設経済常任委員会

付託議案

議案第57号  
議案第61号

専決処分承認を求めるとして（新型コロナウイルス感染症対策に伴う関係条例の整備に関する条例について）  
令和2年度山梨市一般会計補正予算（第2号）関係付託部分

建設経済常任委員会

- ◎武井 寿幸 ○岩崎 友江
- 深沢 敏彦 根津 和博
- 木内 健司 飯嶋 賢一

○「議案第61号 令和2年度山梨市一般会計補正予算（第2号）関係付託部分について」

**問** 山梨市商工振興資金貸付条例を一部改正し、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間の利子について、年利率に相当する額を市が補助することだが、来年度以降も新型コロナウイルス感染症が発生していた場合、延長や継続する考えはあるのか伺いたい。

**答** 金融機関、商工会などに関係する団体等と連携を深めながら、情報共有し、必要な対策について、情勢を見極めながら検討していく。

**問** 山梨市商工振興資金貸付制度への申し込み件数を伺いたい。

**答** 令和2年3月31日現在で、49件の貸付けを行っている。融資合計金額は9371万1200円であり、そ

れ以降の新規の申し込みについては、今は、今のところない。

**問** 小原東東後屋敷線（第2期）道路改良事業における工事期間、進捗状況について伺いたい。

**答** 工事期間については、令和3年度末完成を予定している。進捗状況については、未契約の用地があるが、地元区長をはじめ、関係者の協力をいただき、少しずつであるが契約に向けて動き出している。引き続き早期の契約に向けて努力していく。

**問** やまなし産地パワーアップ事業について、補助対象と補助率及び限度額について伺いたい。

**答** 雨除けハウス、トンネルメッシュ、ハウス等の高収益の施設の導入に対し、2分の1の補助率となっている。限度額については設けられていない。

**問** 「歳入13款 使用料及び手数料」の内、自転車駐車場使用料について伺いたい。

**答** 月極利用者の内、休校となつている高校生以下の払い戻し希望者、大学・専門学校生等の払い戻し希望者に対し、月極利用料の還付を行うものであり、対象者は、最大で、高校生以下が20名、大学・専門学校生等5名である。令和2年3月、4月、5月の月極利用料の内、休校日数を日割りで計算し、還付するものである。

・国において、令和2年度第2次補正予算が成立し、市においても更なる支援策を打ち出していくと思われるが、国や市独自の支援策の周知や申請の簡素化など、早急な対応をするよう要望する。



▲建設経済常任委員会での審査の様子

## 教育民生常任委員会

### 付託議案

議案第57号 専決処分の承認を求めるとして(新型コロナウイルス感染症対策に伴う関係条例の整備に関する条例について)

議案第58号 専決処分の承認を求めるとして(令和2年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分)

議案第59号 山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第61号 令和2年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分

### 教育民生常任委員会

◎向山 輝 ○小野 鈴枝  
土屋 裕紀 萩原 弥香  
矢崎 和也

○「議案第58号 専決処分の承認を求めるとして(令和2年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分)」

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金について、対象者の要件及び対象者数について伺いたい。

**答** 対象者の要件は、令和2年3月31日現在においての児童手当の受給対象者であり、一般支給対象者が2007世帯、3449人である。

**問** 学校が休業となった4月以降の学童クラブの受け入れ体制について伺いたい。

**答** 学校休業中は、家庭内保育などの協力をいただき、保育人数は、通常時の2割程度であった。また、学校のグループ分け授業開始以降は、併設の児童センターや小学校の空き教室、公民館の一室を借り、分散保育を実施し、3密を避ける対応をとっている。

**問** 不織布マスク及び石鹸の配布率が94・5%とのことだが、現在の配布状況と、マスクの備蓄状況について伺いたい。

**答** 未配布の世帯が約800世帯ある。施設に入所の方など、受け取りが難しいケースもあるが、引き続き、配布を行っている。マスクの備蓄については、寄附も含め、大人用3万2750枚、子ども用7450枚となっている。今後、不足する事態も考え、備蓄を増やしたい。

○「議案第59号 山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について」

**問** 第1段階から第3段階までの対象者数と、条



▲教育民生常任委員会での審査の様子

例改正に伴う保険料の軽減額、及び市の負担額を伺いたい。

**答** 第1段階が2074名、第2段階が873名、第3段階が780名、合計で3727名である。軽減額は5377万2730円となり、この減収分を国が2分の1、県と市で4分の1ずつ負担する。市の負担額については、1344万3183円である。

○「議案第61号 令和2年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分について」

**問** 生活困窮者への住宅確保給付金の制度について伺いたい。

**答** 離職や仕事の減少に伴う収入減によって、住居を喪失する恐れのある方を対象とした給付金で、今回、国の生活困窮者自立支援法施行規則の改正により、支給対象の拡大と要件の緩和が行われた。

**問** GIGAスクール構想に伴う無線LANの整備について、整備内容、全体スケジュール、端末の配備予定について伺いたい。

**答** 全てのクラスで高速通信に対応できるようにするため、基本的には、設備のほぼ全てを新しく整備する必要があり、今年度中に全ての設備の入れ換えが完了する予定である。端末については、補助金の活用を視野に、財政状況を見て決定する予定である。

※現地視察として、市立牧丘病院、及び日下部学童クラブの視察を行った。



▲市立牧丘病院視察の様子

# 議会活動日誌

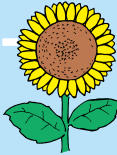
## 6月

- ・令和2年6月定例会(6月1日～6月26日)
- ・議会運営委員会(25日)
- ・議員全員協議会(25日)
- ・第16回議会改革特別委員会(25日)



## 7月

- ・議会運営委員会(13日、20日、29日)
- ・議員全員協議会(13日、20日、29日)
- ・甲府市議会正副議長就任挨拶対応(14日)
- ・第17回議会改革特別委員会(20日)
- ・令和2年7月臨時会(21日)
- ・リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会  
令和2年度総会(27日)
- ・第18回議会改革特別委員会(29日)
- ・議会だより編集委員会(29日)



## 8月

- ・議会運営委員会(25日)
- ・議員全員協議会(25日)
- ・第19回議会改革特別委員会(25日)
- ・令和2年9月定例会(8月27日～9月28日)

## 9月定例会開催予定

- 8月27日(木) 本会議(開会)
- 9月10日(木) 本会議(代表質問)
- 11日(金) 本会議(一般質問)
- 14日(月) 総務、建設経済常任委員会
- 15日(火) 教育民生常任委員会
- 16日(水) 決算特別委員会
- 17日(木) 決算特別委員会
- 18日(金) 決算特別委員会
- 28日(月) 本会議(閉会)

※全日程午前10時から開会予定  
※決算特別委員会は午前9時から開会予定

## 傍聴される方へ (感染症対策のお願い)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、咳エチケットや手洗い、体温チェック、アルコール消毒の感染症対策にご協力いただき、マスクの着用をお願いいたします。

また、傍聴席での「密」を避けるために、座席数を一部制限しております。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、発熱などの症状があり、体調が優れない方は、傍聴をご遠慮ください。



「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



## 編集後記

新型コロナウイルスの危機は、今もなお、社会に大きな影響を与えており、市議会でも、4月、7月と臨時会を開催する事態となっております。

市民の皆様の生活に直結する新型コロナウイルスに対する支援など、慎重なる審議を行っておりますので、議会だよりをご高覧いただき、皆様の貴重なご意見をいただければ幸いです。

第2波、第3波とやって来る新型コロナウイルスへの用心を怠らず、ともに頑張りましょう。

清水 時保

## 議会だより編集委員会

委員長  
副委員長  
委員

清水 時保  
武井 寿幸  
向山 輝  
深山 敏彦  
三枝 正文  
矢崎 和也